

農作業コツのコツ

【第13号】
令和3年7月17日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生は出穂後20日間の湛水管理、中生・晩生・直播は出穂期まで飽水管理を徹底しましょう。

農作業中はこまめな休息と水分補給に努め、熱中症を予防しましょう。

水稻の生育は、早生品種やコシヒカリは平年と比べて1日から2日程度遅く、てんこもりは4日程度遅くなっています。また、コシヒカリやてんこもりは、草丈がやや長め、茎数がやや多めとなっています。

- ①とみちから、五百万石は、出穂後20日間の**湛水管理**を徹底しましょう。
- ②コシヒカリ、てんこもり、直播は、出穂期まで**飽水管理**を行いましょ。

水稻の生育状況

(7月13日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数 (本)		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期		
	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	
コシヒカリ	5/14	5/13	78.2	76.7	21.7	20.6	12.5	12.5	4.0	4.1	(7/12)	7/10	
てんこもり	5/7	5/8	74.2	66.4	33.2	30.1	13.5	13.2	4.4	4.2	(7/17)	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/14	5/15	77.1	73.0	21.3	26.9	12.4	12.6	4.2	4.2	(7/14)	7/13
	てんこもり	5/8	5/10	67.7	68.5	30.4	31.0	13.2	13.3	4.1	4.2	(7/17)	7/14

(調査筆数：コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ3筆 密苗てんこもり1筆)

水稻

1 水管理

(1) とみちから、五百万石

出穂後20日間(7月16日出穂は8月5日頃まで)は、田面が露出しないように2~3cmの**湛水状態**を保ち、収穫期まで根の活力を維持しましょう。

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・穂揃期の葉色の確保に向けて、足跡や溝に水が残る状態になったら入水して土壌の湿潤状態を保つ**飽水管理**を徹底しましょう。
- ・草丈が長かったり、葉色が濃い、ほ場が軟らかい場合は、**間断かん水**を継続しましょう。

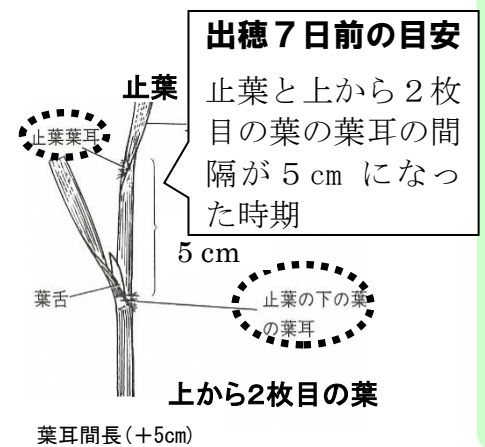
2 穂肥施用(コシヒカリ、てんこもり)

(1) 肥効調節型基肥体系

出穂7日前に葉色を確認し、葉色が極端に淡い場合は出穂3日前までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょう。

○コシヒカリ、てんこもりの追肥施用の目安

品種	葉色確認・施用時期	葉色	施用量
コシヒカリ	出穂7日前 から3日前 (7月27日頃)	4.0以下	追肥3号 7kg/10a
てんこもり	出穂7日前 から3日前 (8月1日頃)	4.2以下	追肥3号 11kg/10a



(2) 分肥体系

現在、コシヒカリの分肥栽培は1回目の**穂肥**の時期(幼穂長15mm頃、5月14日植えて7月19日頃)を迎えています。草丈、葉色などの生育量に応じ、慎重に施肥しましょう。

○コシヒカリの穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目
	幼穂長15mm時	1回目の7日後
10a当たり施用量 (使用肥料: 追肥3号)	10kg	粘土質以外 12kg
		粘土質 11kg

1回目穂肥時の目標生育	
草丈	葉色
82cm以下	3.6程度

※1回目施用時の生育が目標を上回る場合は、施用時期を遅らせるか施用量を減らしましょう。(詳しくは、営農指導員にお問い合わせください。)

3 病害虫防除

(1) 本田防除

適期に2回の**防除**を徹底し、カメムシ類による斑点米の発生を防ぎましょう。

品種	防除時期の目安			薬剤、散布量	
				液剤【無人航空機】	粉剤
五百万石 とみちから	1回目	穂が全体の90%出た頃	7月17日 ～24日	ビームエイトスタークルゾル 8倍、0.8ℓ/10a	ビームスタークル粉剤 5DL 4 kg/10a
	2回目	1回目の1週間後	7月24日 ～31日	キラップフロアブル 8倍、0.8ℓ/10a	キラップ粉剤 DL 4 kg/10a
コシヒカリ てんこもり カルパー直播	1回目	コシ：穂が全体の40～50%出た頃 てんこもり：出穂直前	8月2日 ～8日	ビームエイトスタークルゾル 8倍、0.8ℓ/10a	ビームスタークル粉剤 5DL 4 kg/10a
	2回目	1回目の1週間後	8月9日 ～15日	キラップフロアブル 8倍、0.8ℓ/10a	キラップ粉剤 DL 4 kg/10a

(注) ① 1回目防除と2回目防除の間隔は7日間とし、10日以上空けないようにしましょう。

② 農薬を散布する際は、周辺の野菜等他作物や住宅地への飛散防止に努めましょう。

③ 無人航空機での散布の際は、電線・電柱等への接触事故に注意しましょう。

※ 8倍0.8ℓ希釈液の作り方 … 薬液0.1ℓに水0.7ℓを加える

カメムシ類を抑えるため、雑草の穂が出ないように基本防除までこまめに草刈りを。

(2) 葉いもちの防除

葉色が濃いほ場で**葉いもち病**の発生が心配されます。病斑を見つけたら直ちにブラシ
ン粉剤 DL (3～4 kg/10a)、ブラシンフロアブル (1,000 倍液 60～150ℓ/10a) で防除しましょう。

大豆

1 培土

晴れ間を見て、**培土**を開花期までに確実に2回行いましょう。

2 雑草防除

雑草の発生が多い場合は、雑草の種類や葉齢、大豆の生育状況に応じて、下表の除草剤を使用しましょう。

対象雑草	除草剤名	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
イネ科雑草	ポルトフロアブル	イネ科雑草 3～10 葉期 ただし、収穫 30 日前まで	1 回	薬液 200～300ml ／希釈水量 100ℓ
畑地 1 年雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆 2 葉期～ 開花前 ただし、収穫 45 日前まで	1 回	薬液 100～150ml ／希釈水量 100ℓ
畑地 1 年生雑草	ラウンドアップ マックスロード	雑草生育期 (畦間処理) ただし、収穫前日以前まで	2 回以内	薬液 200～500ml ／希釈水量 50～100ℓ
	ザクサ液剤	雑草生育期 (畦間処理)	3 回以内	薬液 300～500ml ／希釈水量 100～150ℓ
	バスタ液剤	ただし、収穫 28 日前まで		

3 畦間かん水

開花期から9月上旬までの水不足は、莢数や百粒重の確保に大きく影響します。3日以上晴天が続いたら、土壌の乾き具合に応じ、**畦間かん水**を行いましょう。

4 病害虫防除

確実に**基本防除**を実施し、柴斑病やカメムシ類の防除を徹底しましょう。

防除区分	防除時期の目安			薬剤、散布量	
				液剤	粉剤
ウコンノメイガ (随時防除)	7月下旬～8月初め 株当たり6個以上の葉巻きが発生したら直ちに			【ブームスプレーヤ】 プレバゾンフロアブル 5 4,000 倍、200ℓ/10a	ダントツH粉剤 DL 4 kg/10a
基本防除	1回目	莢が伸び きった頃	8月5日～15日頃	【無人航空機】 プランダム乳剤 25 24 倍 カスケード乳剤 32 倍 0.8ℓ/10a	Z ボルドー粉剤 DL※ 3 kg/10a
	2回目	莢に子実が つまった頃	8月20日 ～30日頃	アミスター20 フロアブル 16 倍、0.8ℓ/10a	スミチオンベルコート粉剤 DL 3 kg/10a

※ 出穂している水稻にかかると薬害が発生するので、飛散防止に努めましょう。